

平成 20 年 3 月 7 日

各 位

三島製紙株式会社
代表取締役社長 村上 正弘

弊社製品の非木材紙について(再調査結果)

この度、弊社が製造していました非木材パルプを配合した製品において、非木材繊維原料の配合率が公称と実配合に乖離のあるものがあり、ユーザーの皆様や消費者の皆様をはじめ関係者の方々に多大なご迷惑をお掛けいたし、深くお詫び申し上げます。

本件の非木材配合率につきましては、既に(2月18日)弊社ホームページに掲載しておりますが、その後の継続調査結果をご報告申し上げます。

以上

1. 非木材パルプ配合率を表示している紙製品について、表示されている配合率に規定されている基準を満たしていないものを提供していないか

- ・一部の銘柄のラベルに配合率を示す数字が入っているものがありました。
「ケナフ30GA」、「バガスP70」の2銘柄です。

2. 非木材パルプ配合率を表示しているが、配合率を表示していない紙製品について、契約相手方に周知することなく仕様契約書に示された基準を満たしていないものを提供していないか

- ・お客様との仕様契約書において原料及び配合率の記載はありませんが、商談の中でお約束をしています。これらについてお客様とのお約束を満たしていないものがありました。

3. 上記1. 2. について、仮に基準を満たしていないものを提供した場合には、その銘柄別の供給量及び供給開始時期、並びに、そのような事情が生じた原因は何であったか

銘柄	*販売量 (t/月)	公称配合 (%)	実配合 (%)	乖離	乖離品販売時期
ケナフ30GA	} 22	30	15～20	あり	H10年より
ケナフフィールドGA		70	15～20	あり	H7年より
タケフィールドGA		70	15～20	あり	H8年より
バガスフィールドGA		70	15～20	あり	H10年より
バガスP70		70	20～24	あり	H10年より
麻紙GA		50	35	あり	H13年より

*販売量:平成19年1～12月の月平均販売量

詳細は別紙(販売量(暦年)、非木材配合量の調査)に記載しておりますので、ご参照下さい。

非木材繊維原料は海外からの輸入に依存しており、品質の安定した原料の確保が困難な状況にありました。このような原料事情の中で、非木材繊維原料の品質変動による製品品質の低下を抑制するため、品質の安定確保を優先し配合率を低下させておりました。

以上

非木材紙の販売量(暦年)、配合量

銘柄名		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	乖離	乖離品販売時期
ケナフ100	公称配合(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	なし	—
	実配合(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
	販売量(t/月)	20	26	19	19	16	13	11	11	13		
ケナフ30GA	公称配合(%)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	あり	H10年より
	実配合(%)	17	17	17	17	17	17	17	17	17		
ケナフフィールドGA	公称配合(%)	70	70	70	70	70	70	70	70	70	あり	H7年より
	実配合(%)	15	15	15	15	17	17	17	15	17		
タケフィールドGA	公称配合(%)	70	70	70	70	70	70	70	70	70	あり	H8年より
	実配合(%)	17	17	17	17	17	17	17	15	17		
バガスフィールドGA バガスP70	公称配合(%)	70	70	70	70	70	70	70	70	70	あり	H10年より
	実配合(%)	20	20	20	20	24	24	24	22	21		
麻紙GA	公称配合(%)	—	—	50	50	50	50	50	50	—	あり	H13年より
	実配合(%)	—	—	35	35	35	35	35	35	—		
	販売量(t/月)	68	60	58	36	30	39	32	28	22		